

第2回定例会

・一般質問②

第2回定例会

・一般質問①

一般質問

4名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)



高橋 紀久 議員

光ファイバー網の整備に伴う 情報通信環境の今後の展開について

【質問】 町の不特定多数の方が利用する公共施設などの公衆無線LANの整備の現況と、今後のそれらの整備に対しどのよう
な考えなのか伺います。

【答弁】(町長)

光ファイバー網の整備により、光通信の格差是正が完了します。今後は進展を続ける
よう、町として取り組むべき役割をしっかりと判断し、ま
ちづくりへの活用を図っていくことと考えています。

【質問】

町の不特定多数の方が利用する公共施設などの公衆無線LANの整備の現況と、今後のそれらの整備に対しどのよう
な考えなのか伺います。

【答弁】(町長)

光ファイバー網の整備により、光通信の格差是正が完了します。今後は進展を続ける
よう、町として取り組むべき役割をしっかりと判断し、ま
ちづくりへの活用を図っていくことと考えています。

公共施設や観光地での有意義な利用 公衆無線LAN整備の考えは 町長：Wi-Fi利用目的や要望を勘案し 施設ごとに柔軟に対応する

【質問】

公共施設や観光地での有意義な利用
公衆無線LAN整備の考えは
町長：Wi-Fi利用目的や要望を勘案し
施設ごとに柔軟に対応する

【答弁】(町長)

公共施設や観光地での有意義な利用
公衆無線LAN整備の考えは
町長：Wi-Fi利用目的や要望を勘案し
施設ごとに柔軟に対応する

【質問】

公共施設や観光地での有意義な利用
公衆無線LAN整備の考えは
町長：Wi-Fi利用目的や要望を勘案し
施設ごとに柔軟に対応する

【答弁】(町長)

公共施設や観光地での有意義な利用
公衆無線LAN整備の考えは
町長：Wi-Fi利用目的や要望を勘案し
施設ごとに柔軟に対応する



但木 早苗 議員

国保税の納付回数について

【質問】 国保税の納付回数について、4回から6回になり現在に至っていますが、12月完了という点では変わっていません。納付困難な人への納付相談にも対応している事は十分理解をしていますが、納付回数を増やすことで、年々上がる国保税をより払いやすくする事につながるものと考えます。管内でも、北見市の10回をはじめ、7回、8回、9回など、6回以上の町があります。本町の納付回数の増についての考えをお伺いします。

【答弁】(町長)

国保税の収納率は、令和2年度の実績でも99%と他の市町村と比較しても高く、納付困難な方に対しては納税相談

納付者の立場に立って考えてほしい 納付回数を増やすことは出来ないか 町長：納税相談や分納にて対応 現状の納期・納付回数で継続する

【質問】

納付者の立場に立って考えてほしい
納付回数を増やすことは出来ないか
町長：納税相談や分納にて対応
現状の納期・納付回数で継続する

【答弁】(町長)

納付者の立場に立って考えてほしい
納付回数を増やすことは出来ないか
町長：納税相談や分納にて対応
現状の納期・納付回数で継続する

【質問】

納付者の立場に立って考えてほしい
納付回数を増やすことは出来ないか
町長：納税相談や分納にて対応
現状の納期・納付回数で継続する

【答弁】(町長)

納付者の立場に立って考えてほしい
納付回数を増やすことは出来ないか
町長：納税相談や分納にて対応
現状の納期・納付回数で継続する

西富公住玄関前 通路の舗装について (1号棟～11号棟)

【質問】

西富公住玄関前
通路の舗装について
(1号棟～11号棟)

【答弁】(町長)

西富公住玄関前
通路の舗装について
(1号棟～11号棟)

【答弁】(町長)

必要なのは、現実の環境
下で充実した行政サービスを
いかに実施するかということ
であり、光通信による進化し、
業務が膨らむことも踏まえ、
いかに行政が知恵を絞るかだ
と思っています。

【質問】

必要なのは、現実の環境
下で充実した行政サービスを
いかに実施するかということ
であり、光通信による進化し、
業務が膨らむことも踏まえ、
いかに行政が知恵を絞るかだ
と思っています。

【答弁】(町長)

必要なのは、現実の環境
下で充実した行政サービスを
いかに実施するかということ
であり、光通信による進化し、
業務が膨らむことも踏まえ、
いかに行政が知恵を絞るかだ
と思っています。

【質問】

必要なのは、現実の環境
下で充実した行政サービスを
いかに実施するかということ
であり、光通信による進化し、
業務が膨らむことも踏まえ、
いかに行政が知恵を絞るかだ
と思っています。

【答弁】(町長)

必要なのは、現実の環境
下で充実した行政サービスを
いかに実施するかということ
であり、光通信による進化し、
業務が膨らむことも踏まえ、
いかに行政が知恵を絞るかだ
と思っています。

強く要望してきましたが、
住宅玄関前の通路舗装は、明
確な対象事業項目として該当
するものがなく、現状では補
助を活用し、整備を行うこと
はできない状況となっております。

【質問】

強く要望してきましたが、
住宅玄関前の通路舗装は、明
確な対象事業項目として該当
するものがなく、現状では補
助を活用し、整備を行うこと
はできない状況となっております。

【答弁】(町長)

強く要望してきましたが、
住宅玄関前の通路舗装は、明
確な対象事業項目として該当
するものがなく、現状では補
助を活用し、整備を行うこと
はできない状況となっております。

第2回定例会

第2回定例会

・一般質問④

・一般質問③



佐藤 昭男 議員

町内主要産業の農業・漁業・商工業者などへの配偶者確保対策について

【質問】

町内では高齢化と人口減少が進み、主要産業においても大きな課題となっています。こうした中で、第2期地域創生総合戦略において今後の出生数の減少への取組として、基本目標3に「結婚、出産、子育ての希望をかなえる」とあり、その目標の施策の中に、「結婚を望む男女の希望をかなえるため、若い世代が交流する機会や出会いの場の創出に努める」とありますが、主要産業である農業、漁業、商工業者などへの配偶者確保のために、町としてどのような施策が打ち出せるのか、アイデアマンであり、発想力豊かな町長の考えをお伺いします。

【答弁】(町長)

この地域創生総合戦略における目標人口は、令和12年度に3900人を維持するという目標を実現するための施策を示したものであります。配偶者確保対策であります。参加しやすい企画名もシンプルに「さるまちこん」は、これまでに6回開催され、男性194名、女性342名が参加をし、この事業がきっかけで5組が結婚されたという聞いております。

【質問】

今後、各団体に予算をつけて企画をお任せするのではなく、町独自でそういった企画を実行することは考えておりませんか。

【答弁】(町長) 町が主催して実行するとなると、なかなか難しいところもあり、今までのように実行委員会を中心となって、色々なアイデアを生かして開催していくのが良いのではないかと考えております。このコロナ禍を契機として、これからはSNS、インターネットを通じて、リポートなどをうまく活用していく方法もあるのではないかと考えており、例えば今までやってきた街コンを「オンライン街コン」として発展させた事業として実行委員会に提案できるのではないかと考えております。

さらに、地域おこし協力隊を来年度から導入する予定であり、町のPR事業などもしていただくというところで、私たちが持ち合わせていない斬新なアイデアを生かし、

これからの町を担う若い世代へどのような施策が打ち出せるか
町長：若者が持つ斬新なアイデアをより良い事業に積極的に支援する

配偶者確保対策を含めた人口減少問題の克服に向けて取り組んでいきたいと考えております。また、男女の出会いということであれば、最近では職域を超えた中で若者の交流も、町の中では少なくなっていると思っております。

そのような中で、この2年間ほど中止となっている「シンデレラまつり」の実行委員会は、町内各団体が助成をして運営をしていますが、町内出身者であったり、町外出身者で「4月からこの事業所に新人が配属になったよ」というような情報から声かけ、勧誘するなど、職域を越えた活動の支援もあり、そこで「まちづくり」というテーマの中で、若者が町のために力を合わせていくという思いが繋がることもあると思いますので、町としては積極的に支援をしていきたいと思っております。



三田 真美 議員

コロナ禍における子ども達の生活環境について

【質問】

長引くコロナ禍で、子ども達は学校の行事、少年団活動、部活動等が制限され、大人以上のストレスを抱えています。また、近年での家庭内DV、いじめや不登校などの事案には、心のケアが必要だと思いますが、本町での状況と対応についてお伺いします。

【答弁】(教育長)

コロナ禍の長期化で、学校での生活環境が変化し、子ども達の心身の健康が低下傾向にある可能性が指摘されている中、学校の行事は、感染対策を講じながら工夫を凝らし、何とか子供達の活動の場をつくらうと対応しています。また、家庭内DV、いじめ、不登校、虐待などの問題は、

子ども達に寄り添った教育が必要では

教育長：心のケアと確かな学びを保障したい

関係機関と連携して対応することとしており、不登校の子供には、学校からの健康確認、プリント課題の提供、保護者との対話をし、教育においては教育相談員、スクールカウンセラーを配置し、専門家の視点から児童生徒、保護者に寄り添った話し合いがされております。

【質問】

道内でも自主休校という形で学校に行かない児童生徒がいますが、今後そういった事例やコロナによるリモート授業となった場合、どのようにフォローするかお伺いします。

【答弁】(教育長)

今のところ、本町の学校では感染が不安で休ませたいという相談は無く、道教委で作

今後のコロナワクチン接種について

【質問】

国が推奨する11月までに希望者へのワクチン接種を完了できるのか、また、接種枠を12歳からとする考えがあるのかお伺いします。

【答弁】(町長)

現在計画の予定では、接種を希望する町民全ての方が、2回目の接種を終えるのを、10月下旬と見込んでいます。また、12歳からの接種につ

いて、国の指針では15歳以下の接種は、保護者の同意と個別接種が基本とされていますので、近隣自治体との情報共有を密にし、関係機関との協議を進める事としています。

【質問】

平日に接種に行けない方のために、月に1回でも土日に

半日ずつなどの接種枠を設ける事は出来ないのでしょうか。
【答弁】(保健福祉課長) 町内企業の社長宛てに、この期間でのワクチン接種にご協力をお願いする依頼文を出すことで考えていますので、土日ではなく平日の接種で行いたいと考えております。

高齢者が利用する公共施設について

【質問】

ここ数年、熱中症対策として各公共施設へのエアコン整備が進んでいます。

高齢者へのワクチン接種が順調に進んでいる状況を見ると、エアコン未設置である老人福祉センターなどの利用者が増加すると思われそうですが、エアコンの設置は考えているのかお伺いします。

【答弁】(町長)

高齢者の活動拠点となっている老人福祉センターでは、現状として利用者からの要望は聞いておりませんが、今後エアコン未設置の公共施設において、利用者の声も聞きながら、設置計画を進めていきたいと考えております。